

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科後期課程
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 入学者に対して学生の手引き等を通じて、教育目標、学位授与方針を、適切に伝達する。	→「学生の手引き」説明会への参加率	B
2. 入学者に対して学生の手引き等を通じて、教育課程の編成・実施方針を、適切に伝達する。	→「学生の手引き」説明会への参加率	B
3. ウェブサイトを通じて、教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針を、適切に伝達する	→ウェブサイトへのアクセス数	C
4. 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針についての、内部評価を実施する	→内部評価のための会合の開催回数	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

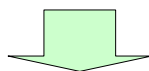
### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目	現状説明
☆ 小項目6.1.1	(方針) (現状説明) 「学生の手引き」において詳細な説明を記載している。また、個々の担当教員が、都度、教育目標等について、個別に学生と意思疎通を図りながら、研究指導を行っている。
☆ 小項目6.1.2	(現状説明) 「学生の手引き」において詳細な説明を記載している。また、個々の担当教員が、都度、教育課程の編成等について、個別に学生と意思疎通を図りながら、研究指導を行っている。
☆ 小項目6.1.3	(現状説明) 2009年度中にホームページの全面改訂を行い、学生や社会への周知を徹底して行っている。
☆ 小項目6.1.4	(現状説明) 博士課程院会において、都度、教育目標や教育課程の編成について意見交換を行っている。
☆ その他	

## ◎効果が上がっている事項

## 【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	



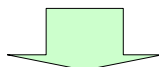
## 【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★小項目6.1.3	
小項目6.1.4	博士課程指導教員による新規講義科目の新設と非常勤講師による新規講義科目の設定を行う。
その他	

## ◎改善すべき事項

## 【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★小項目6.1.3	ウェブサイト記載内容が不足している。英語表記も対応できていない。
小項目6.1.4	
その他	



## 【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★小項目6.1.3	ウェブサイトに学位授与方針を掲載した上で、英語表記にも対応する。
小項目6.1.4	
その他	

## ◎自由記述

## 【点検・評価】&amp;【次年度に向けた方策】

★ その他 (自由記述)	
-----------------	--

## Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

## 【学外委員】

- 「目標」3にあるウェブサイトの充実が望まれます。
- 「効果が上がっている事項」のうち「伸長させるための方策」6.1.4は、次項の6.2「教育内容」のほうが適切でしょう。
- 「新規講義科目の設定」がなぜ「改善」にあたるのか、現状説明が求められます。

## 【学内委員】

- 取り組みが進捗中と判断されます。
- 現状報告には学位授与方針を記述してください。

#### IV. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ 現在、本課程は設立3年目であり、今年度から博士学位を授与する時期を向かえることになる。授与に際しては、博士論文の提出に加えて、2本以上の研究論文を研究紀要・学会誌等に掲載を求めるとともに、全国大会・部会における学会報告を最低1回行うことを要件としている。加えて、外国語と専門学力の試験を1年次・2年次に行うなど、体系的な研究指導の実績を踏まえた学位の授与を目指している（方針としている）。さらに、今年度からの博士学位授与に向けた審査では、公開報告会を義務付けるとともに、そこで示唆された各種のコメントを通じて博士学位の授与にふさわしい研究論文かどうかを吟味する方針である。加えて、本課程では理論と実践・実務の融合を企図した研究論文の作成を指導しており、この点も他の研究科とは異なった学位授与方針として、本課程の特徴を示すものである。

#### V. 本項目の評価指標

##### <全学的な指標>

6.1.0.S1	カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
6.1.0.S2	MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
6.1.0.S3	ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
6.1.0.S4	専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの授業科目開設数
6.1.0.S5	必修・選択ごとの開設授業科目数
6.1.0.S6	系列別卒業必要単位数

##### <個別的な指標>
